

○地域資源活用・環境配慮基礎、環境配慮応用研修を終えて

9/26 から 10/7 までの間に、地域資源活用に関する最新の研究情報や活用事例、生態系の基礎、ネットワーク保全の考え方、環境に配慮した施工事例と維持管理の取組み、生態系調査の実習など、今後の業務に必要な多くのことを学びました。特に、環境配慮型のほ場整備が行われた栃木県荒川南部地区（猿久保地区）の取組み事例を実際に見て、土地改良区の皆様から直接話しを聞いたことや生態系調査として鳥類・植生・魚類の調査手法を実習できたことは大変有意義でした。

2001 年に土地改良法が改正され、NN 事業に原則として「環境との調和に配慮すること」が義務付けられ、数多くの環境に配慮した整備がなされているところです。しかし、法改正から 10 年とまだ浅いため、これまで整備した施設の検証はこれからです。継続的にモニタリング調査を実施しながら、環境配慮技術の蓄積を図ることが重要と考えます。

今回の研修を通じて、環境に対する様々な視点、意識の向上が図られました。この研修を機会に、今後より一層、環境に関する知識を深めていきながら、現場において環境配慮技術を発揮していきたいと思っています。最後に、この研修で出会った皆様、大変お世話になりました。農工研の皆様には、今後とも気軽にご相談させていただければと思います。その節はご指導の程どうぞよろしくお願い致します。

九州農政局土地改良技術事務所 米原正隆